

平成 30 年 3 月 16 日

意見発表

亀井委員

公明党県議団を代表して、当委員会に付託された諸議案等に賛成の立場で意見を申し述べます。

初めに、障害者雇用の促進についてです。

障害者の雇用促進という点で、平成 30 年 4 月から法定雇用率が引き上げられ、精神障害者が加わるようになっております。そのような中、現在でも障害者雇用の取組の余り進んでいない中小企業への支援は喫緊の課題であります。昨年 4 月、障害者就労相談センターの障害者の方々の就労支援や相談という機能を見直し、雇用主である中小企業へ訪問し、アドバイスをする機能を持つ障害者雇用促進センターへと変更されました。ぜひ県としては、障害者雇用の進んでいない企業等への助言や支援等により一層力を注いでいただくことはもちろんのこと、精神障害者の方々も含め、障害のある方々の就労にも今まで以上に尽力していただくことを要望します。

また、障害者雇用で大事なことは、定着支援です。そのためには、雇用先での障害者の方々のスキルアップが大事だと思います。障害のある方々が飽きず楽しく働くことができ、雇用主にとっても、任せる仕事が増えれば、障害者雇用により積極的になると考えたからです。今後は、定着率という指標を設けて、働く障害者の方々にとってやりがいがあり、雇用主にとってもより有意義なシステムを構築することを要望します。

次に、市町村と連携した企業誘致の取組についてです。

企業を誘致する目的は、県内企業の発注の機会を提供するとともに、地域の雇用の機会を提供し、地域の活性化を図ることです。企業誘致は労働者やその家族の人口増に寄与する方策ともいえます。県としては、企業誘致促進協議会の取組として、地域産業プロジェクトへの企業誘致にも取り組んでいただいておりますが、特に私の地元である三崎漁港二町屋地区水産物流通加工工業務団地にはいまだに企業は誘致できておらず、横須賀リサーチパークでもまだ企業の誘致できる土地は多く残っている状態です。三浦市、横須賀市は人口の減少が続いている中、ぜひ両市と今まで以上に連携を図っていただき、地域産業プロジェクト等も積極的に活用しながら、企業誘致に努めていただき、人口増にも貢献していただくことを要望します。

次に、外国人観光客の誘致についてです。

ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、県は外国人観光客の誘致に積極的に取り組んでいると思いますが、今後は県内経済の活性化の観点からも、県内を訪れる観光客に宿泊していただき、長時間滞在してもらい、多くの消費行動につながるような施策の検討、実行に努めていただくことを要望します。特に外国人観光客が夜間に観光や遊びに行くことができ、同時に地域経済が潤うようなナイトタイムエコノミーについては今後ますます必要となり、注目されると思います。県として、ナイトタイム

エコノミーについてのビジョンと着地点をしっかりと持ち、外国人観光客とその地域がともに満足するよう取り組んでいただくことを要望します。

次に、バイオマス発電の導入についてです。

再生可能エネルギーの中でも、太陽光発電の新規導入量が減少しつつある中、バイオマス発電への期待は今まで以上に大きくなると思われます。しかし、バイオマス発電については、燃料確保に課題があります。例えば、木質チップを燃料として、県内を含め国内から調達するときには、林業従事者人口の増減によって調達量は変わります。また、山林の相続が進むうちに所有関係が複雑になり、突然調達できなくなることも考えられます。所有者不明土地が増えていくようであれば、なおさらです。また、海外から燃料を輸入する場合は為替レートの変動によって調達量が増減する危険性もあります。バイオマス発電においては、ぜひとも燃料調達についてしっかりと研究しながら取り組むことを要望します。

最後に、中小企業制度融資の取組についてです。

平成30年度に向けて、中小企業制度融資を大幅に見直しているようです。特に、私の代表質問に関連して新設されたかながわイノベーション戦略的支援融資については、大いに期待をしているところです。このような制度融資は当然、県民や中小企業、金融機関にとって利用しやすい制度になっていかなければなりません。そして、その時点での制度設計に満足せず、今後も県民、中小企業関係者、金融機関関係者により利用しやすいものにし得るよう要望します。

また、見直しをした内容が多くのステークホルダーに認識してもらわなければ、全く意味はありません。多くの方々にしっかりと認識していただけるよう、啓発等も含め、取り組んでいただくよう要望します。

様々御苦勞は多いと思いますが、よろしく願いいたしまして、関係諸議案等に賛成することを申し述べ、意見発表といたします。